

日本共産党杉並区議会議員

くすやま美紀(樟山みき)活動報告



2018. 2. 15 NO. 215

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170

区議会控室 3312-2111(内)2319

2018年 杉並区議会第一回定例会開会

日本共産党 代表質問で区長の政治姿勢を質す

2月9日から、杉並区議会第一回定例会が始まりました。(3月15日まで)

日本共産党杉並区議団からは、山田耕平幹事長が代表質問に立ち、今年6月に行なわれる杉並区長選挙を前にして、2期8年の田中区長の政治姿勢の問題や、区立施設廃止・削減等のま

区民の声を蔑ろにしてきた区政運営

この間、区立施設再編整備計画や、区が進める各計画により、区内各地で区民に愛された区立施設が次々と廃止・削減、縮小されています。質問では、各地で住民が切実な声を上げ計画の見直しを求めていることを、区長はどう受け止めているのかと追及。住民の声を蔑ろにした区政運営を止めるよう求めました。

区長は「理解を得られるよう努める」とし、計画強行の姿勢に固執。自らの区政運営により区内各地で問題を発生させながら、区民の声に背を向ける態度は許されません。

毎年1千万超の政治資金パーティー 23区で杉並・田中区長だけ

田中区長は毎年1200万円規模の政治資金パーティーを開催しています。区内補助金受領団体の関係者がパーティーの呼びかけ人を務めるなど、度々、道義的な問題が指摘されてきました。東京23区で政治資金パーティーを開催し

ている区長は僅かであり、なかでも毎年1千万円を超える大規模パーティーを開催しているのは田中区長だけです。

大臣規範「自粛」の規定からも逸脱

1千万円を超える大規模パーティーは「国務大臣、副大臣及び大臣政務官規範」において「政治資金の調達を目的とするパーティーで国民の疑惑を招きかねないような大規模なもの開催を自粛する」と規定されています。

質問で、大臣規範の観点からも問題があると指摘したところ、区長は「規模も性格も異なる」と強弁。毎年700万円規模のカネ集め(パーティー収入は1200万円、経費は500万円程度)の実態を問題無しとする姿勢に終始しました。

質問を傍聴した区民からは「金づくで区政が歪められるのではないか」等の懸念の声が出されました。田中区長の「政治とカネ」問題は、引き続き、予算特別委員会でも追及します。



党区議団を代表して質問に立つ山田耕平議員
(2月13日)

お困りごと、ご相談は、上記連絡先まで、お気軽にお電話ください

豊かな財政力は区民福祉のために

国保料の負担増は深刻 繰り入れを継続し値上げはやめよ

国民健康保険料は、毎年連続して値上げされており、負担増が区民生活に重大な影響を及ぼしています。来年度は、さらに引き上げが予定され、都道府県化を機に一般会計から国保会計への繰り入れ（自治体毎の負担軽減策）が段階的に廃止されようとしていることは重大な問題です。

質問では繰り入れを継続するよう求めましたが、区は段階的廃止の方針を示しており、極めて問題のある姿勢です。引き続き、一般質問、予算特別委員会でも取り上げます。

550億円の貯め込みでなく 区民本位の財政運営に転換を

杉並区は、今後人口が減り税収が厳しくなる、と言っており、区立施設の削減や住民サービスの後退を強行してきました。しかし、一方では「築浅のあんさんぶる荻窪との財産交換により進められる天沼3丁目複合施設建設」約33億円、「高円寺小中一貫校建設」約80億円など、不要不急の過大なハコモノへの経費が増加。さらに、阿佐ヶ谷北側地域に地上13階建ての建造物も検討されています。

また、現在、着々と550億円もの財政のダムを目指した基金積み立ても進められており、前年度は34億円を積み増し、基金総額は479億円に及んでいます。その一方、莫大な経費をかけなくても実施できる障がい者団体や住民からの要望等は、脇に置かれたままとなっており、区民本位の財政運営になつていないと言えません。

区民福祉を向上させ、区民が主人公となる財政運営に切りかえることを求めました。

くすやま美紀区議地域 新春のつどい

1月27日、荻窪地域区民センターで、くすやま区議地域の新春のつどいが開かれ、60名が参加しました。

くすやま区議の新年の挨拶、原田あきら都議会議員の都政報告があり、参加者からも「安倍政権の憲法改悪を許さないために力をあわせよう」と決意が語られました。手作りの料理に舌鼓を打ち、歌・合唱で楽しく交流しました。



日本共産党杉並区議団アンケート 切実な声が続々と・・・

日本共産党杉並区議団が実施している「杉並区民アンケート」に続々と返信が寄せられています。現在、返信は1500通を超えており、集計を行なっています。自由記述欄にも区民の切実な声がびっしりと寄せられており、その多くが将来への不安やくらしの切実な実態を訴える内容となっています。

党杉並区議団は、アンケートに寄せられた切実な声や要望を受け止め、今後の議会論戦や党政策に反映し、区民が主人公の区政への実現へ全力を尽くします。

アンケートに寄せられた声

- 「年金や収入は減少する一方で、税や社会保険料などの負担増でくらしが苦しい」（80代男性）
- 「非正規なのでまったく貯金ができない。なにかあった時が不安。死ぬまで働かざるを得ないが、働く場所があるのか？」（50代女性）